



任期が始まって半年が過ぎました！

暑い夏も終わり、落ち葉が風に舞う季節となりましたが、皆様ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。朝夕はひときわ冷え込むようになり、体調の管理には十分ご注意いただきたいと思っております。

さて、任期がスタートして半年が過ぎました。この間、本会議や委員会等への出席の傍ら研修会や視察など様々な場面で学習をしておりますが、学ぶほどに行政が担っている重みや幅の広さに驚かされております。「現場を見て、調べて、感じる」事を信条とし、学びながらになりますが、引き続き皆様のお役に立てるよう努力してまいりたいと思っております。

第2回(9月)定例会が、9月14日(水)～10月14日(金)の会期で開催されました。以下、要旨についてご報告いたします。

議題は「決算」がメイン！

9月議会の主な議題は、平成22年度の決算です。具体的には、一般会計と12の特別会計それぞれの収入と支出について、28人の議員が「一般会計予算決算委員会」「特別会計企業会計予算決算委員会」において詳細に確認しました。決算だけで5日間、終日通しのハードスケジュールでした。

※ 平成22年度＝平成22年4月1日～平成23年3月31日

一般質問に立ちました！

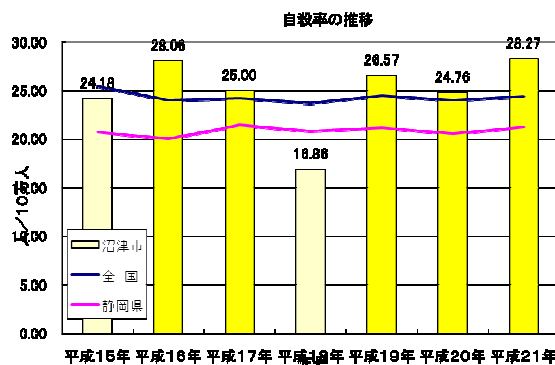
9月26日(月)、初となる「一般質問」を行いました。テーマは「沼津市のメンタルヘルス対策」です。(沼津市ホームページから本会議の様子がご覧いただけます)

質問メンタルヘルス対策は、相談窓口の設置や拡充が極めて重要と考えるが、本市の取り組みは？

答弁メンタルヘルスの大切さを理解していただくため、啓発キャンペーンや市民向け講演会、医療機関の紹介等を行っている。また、4月から精神保健福祉士や社会福祉士等の専門家で構成する「障害者総合相談支援センター」により相談しやすい環境づくりや、保険師による日常対応、相談員の養成、労働基準監督署との共催講習会、家族向け講習など、きめ細かな対応を行っている。

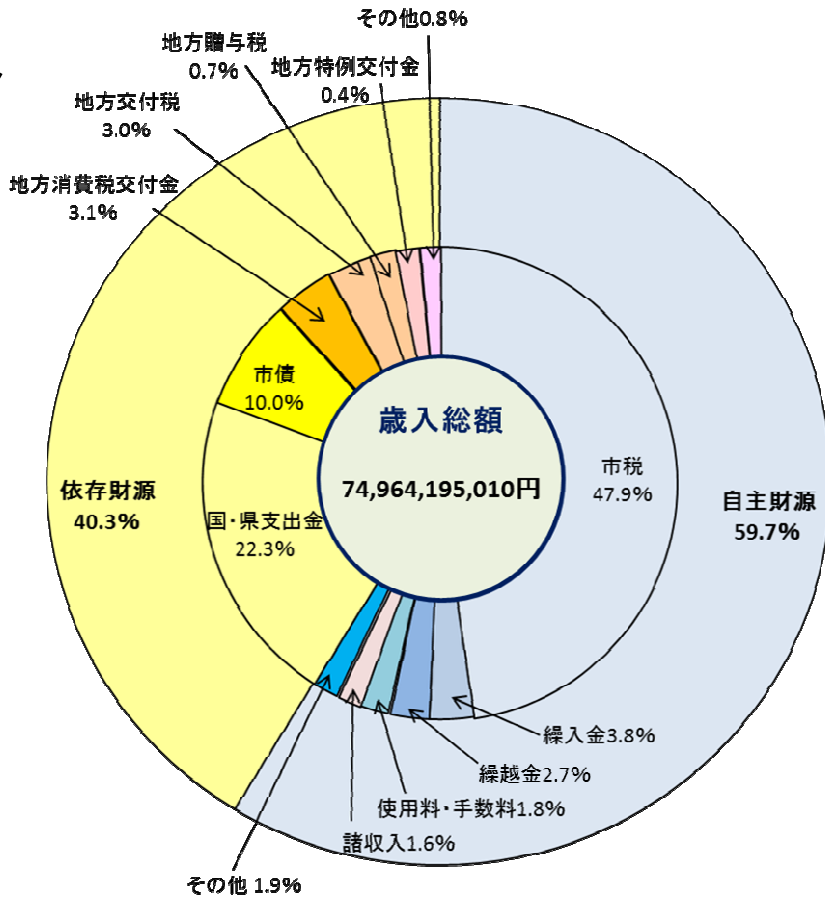
質問社会復帰支援については、どの様な取り組みを行っているのか？

回答日常的な相談を中心に、医療費の助成や一般企業等へ就労するための支援、社会交流を促す支援、さらには農業等の就労体験ができる場の紹介など、さまざまな支援を行っている。精神に障害のある人が一日でも早く社会復帰できるよう今後とも支援策の充実に努めていく。



平成 22 年度 一般会計決算

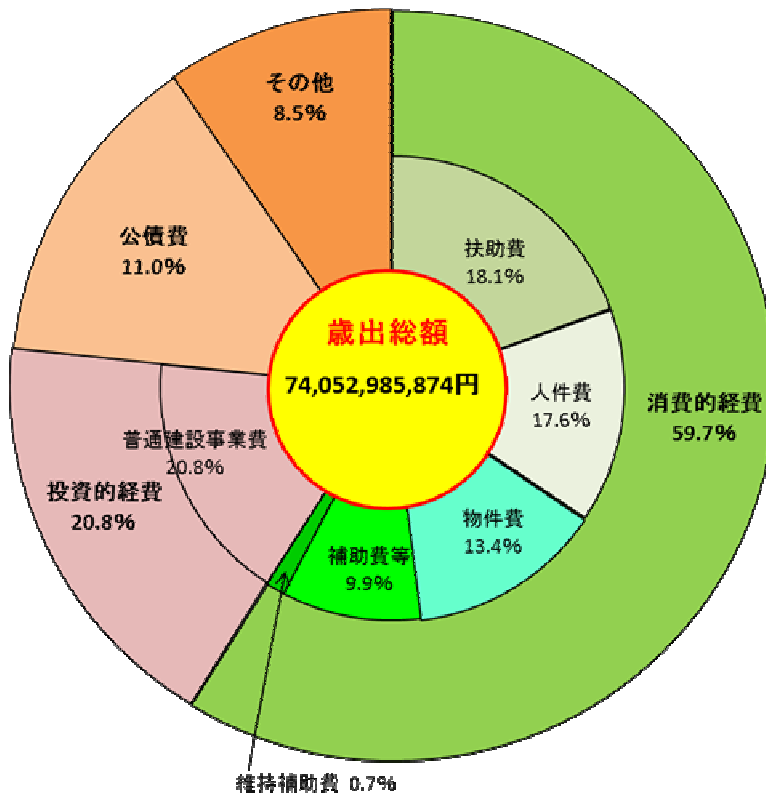
歳入



<歳入>

歳入総額は74,964,195,010円で、前年度決算に比べ0.7%の減少だった。中でも、市税▲1.5%、繰越金▲13.5%となっており、自主財源全体としては▲1.7%となった。一方、地方交付税86.3%、県支出金3.5%、市債0.7%それぞれが増となったため、依存財源は0.8%増となった。

歳出



<歳出>

扶助費が28.7%増となったものの、補助費等が▲35.8%となったことから、消費的経費は2.2%減となった。また、普通建設事業費などの投資的経費が8.1%増となったほか、公債費は0.8%増となっている。

予算および収支

一般会計の当初予算(期初の予算)規模は71,530,000,000円で前年度比2.7%増であったが、歳入歳出予算の補正は3,745,630,000円を追加し、継続費次繰越額852,588,000円、繰越明許費繰越額3,519,827,000円を合わせた最終予算額は79,648,045,000円となり、当初予算に比べて11.3%増となった。

また、歳入歳出差し引き911,209,136円の剰余金の内、繰越明許費繰越財源327,239,000円を差し引いた実質収支額は583,970,136円となっている。

平成 22 年度 特別会計

※カッコ内の数値は昨年度比

国民健康保険事業特別会計

歳入 22,048,120 千円 (4.3%)

歳出 21,257,501 千円 (3.2%)

主な保険給付は、療養給付費 126 億 5,808 万円、高額療養費 14 億 1,432 万円、出産育児一時金 1 億 3,239 万円等となった。

交通災害共済事業特別会計

歳入 17,041 千円 (7.0%)

歳出 17,041 千円 (27.1%)

保険給付は 14 件 256 万円となった。本事業は、民間保険制度が充実した事などにより平成 21 年 3 月末をもって受付終了し、今期で特別会計を廃止する。

土地取得事業特別会計

歳入 52,588 千円 (▲10.8%)

歳出 52,588 千円 (▲10.8%)

沼津駅周辺整備用地の売り払い (37.6 ㎡) 195 万円、社会福祉施設用地 4,225 万円を取得した。

老人保健事業特別会計

歳入 19,227 千円 (▲51.1%)

歳出 12,154 千円 (▲59.8%)

平成 20 年 4 月の後期高齢者医療制度施行により老人保険事業は廃止され、経過措置が終了した事に伴い、今期で特別会計を廃止する。

介護保険事業特別会計

歳入 11,640,687 千円 (5.1%)

歳出 11,617,461 千円 (5.8%)

高齢者人口増加に伴い、第 1 号被保険者が増加 (50,629 人) し、要介護等認定者も増加 (7,111 人) している。介護保険サービス利用者数は月平均 6,064 人だった。

簡易水道事業特別会計

歳入 10,766 千円 (11.2%)

歳出 7,726 千円 (8.6%)

井田地区の水質管理および水源監視を行い、給水人口 82 人 (年間総配水量 16,449 ㎡) に対して、安全な水の安定供給を遂行した。

温泉施設事業特別会計

歳入 22,675 千円 (▲11.2%)

歳出 20,195 千円 (0.6%)

戸田寺の湯温泉の利用状況は、温泉浴場利用者が昨年度比 5,117 人増加 (53,090 人/年) したが、温泉スタンド利用は 512,300 人減少 (3,699,700 人/年) した。

後期高齢者医療事業特別会計

歳入 1,834,433,784 千円 (3.3%)

歳出 1,827,066,184 千円 (3.2%)

被保険者数は、75 歳以上 23,457 人および 65 歳～74 歳の障害があると認定された 673 人の合計 24,130 人であった。また、健康診査は 7,086 人が受診した。

病院事業会計

総収益 09,653,970 千円 (0.1%)

総費用 10,190,098 千円 (0.2%)

入院患者は 113,700 人 (▲8,263 人)、外来患者は 179,348 人 (▲2,227 人) だった。純損失は 536,128 千円で、前年度に引き続き赤字決算により累積欠損金 4,380,968 千円となった。

水道事業会計

総収益 2,965,949 千円 (15.3%)

総費用 2,549,962 千円 (1.5%)

給水戸数は 102,305 戸 (96 戸増)、給水人口は 241,666 人 (1,461 人減) となった。平成 22 年 9 月に水道料金改定、様々な経営努力の結果、純利益が増加した。

国民宿舎事業会計

総収益 5,549 千円 (—%)

総費用 4,915 千円 (▲23.1%)

伊豆戸田荘は施設の老朽化に伴い耐震性能が低いため平成 18 年から休業している。平成 23 年度中に企業積 (5,050 千円) を繰上償還し会計を閉鎖する予定。

下水道事業会計

総収益 3,862,990 千円 (▲1.0%)

総費用 3,950,556 千円 (001.5%)

下水道普及率は 54.0% (1.8%) と年々増加しているが、一般会計からの補助金への依存度が高く、平成 22 年度は企業会計施行以来、初の赤字決算となった。

今どきの「話題」特集！

9月議会の議題を中心に身近な話題を提供します！

あらたに生じた土地の確認と字の区域の変更

西浦平沢(らららサンビーチ東)と内浦小海を埋め立てたため、土地の確認と字の区域の変更をした。

町の区域の変更〔杉崎町〕

日の出町の一部(三ツ目ガード北)を、土地区画整理事業の進捗に伴い杉崎町へ変更した。

地区センター条例の一部改正・公民館条例の廃止

愛鷹公民館をH24年4月から愛鷹地区センターとするため「沼津市地区センター条例」を改めた。また愛鷹公民館の地区センター化に伴い沼津市内の公民館が無くなったため「公民館条例を廃止する条例」を定めた。

平成23年度一般会計補正予算

主に岡宮北土地区画整理事業費 190,000 千円、省エネルギー推進事業 30,000 千円など当初予算に対して 262,042 千円追加をした。

沼津市スポーツ振興審議会条例の一部改正

スポーツ振興法の改正に伴い、沼津市において条例の題名や引用法律名等を改めた。

平成23年度介護保険事業特別会計補正予算

主に介護給付費準備基金 75,352 千円など 106,889 千円を追加した。

第23回労働者福祉協議会「綱引き大会」へ出場！

10月15日(土)恒例の第23回労福協綱引き大会』が開催されました。この大会は、毎年沼津地区労働者福祉協議会が主催しているもので、地域の仲間どうしの親睦と健康増進を目的に開催されております。東芝機械労組は「やったろうず」が出場し奮闘した結果、準優勝を獲得しました。おめでとうございます。本当の戦いは、数日後の筋肉痛ですね。。



第16回全国ジュニアゲートボール大会：静岡県代表として「片浜ジュニアクラブ」が出場！

今年7月30日(土)から31日(日)、埼玉県彩の国熊谷ドームで開催された第16回ジュニアゲートボール大会へ静岡県代表として「片浜ジュニアクラブ」が出場しました。チームプレイヤーの5人は、監督の高嶋宏行さん(梶やすひさ後援会長)を中心に老人クラブメンバーの指導を受け、その成果として決勝トーナメントへ進出、全国ベスト12位という輝かしい結果を刻む事ができました。本当におめでとうございます。少子高齢の時代、まさに世代を超えた交流の重要性と力強さを感じました。

